

西三河地域の日

家康公 西三河漫遊記

5月15日

あいち・おまつり広場

徳川家康が現代によみがえり、西三河を旅するという設定のもと、西三河地域の芸能が一同に会して行われた「家康公西三河漫遊記」。この催しに安城市民を中心とし、市内で活動を行っているジブラ・プラス・アンサンブルが出演し、「G線上のアリア」「となりのトトロ」などの曲を演奏しました。

また、会場ではこの地域の代表的な文化も紹介され、安城市からは桜井風が展示されました。



愛知県ウイーク

お祭りプロジェクト
お祭りヌーベルバーグ

4月24日

EXPOホール



愛知県ウイークで開催される4つのプロジェクトのうちの一つ「お祭りプロジェクト」。その中で、歴史に培われた伝統的な芸能と、現代の先進的な芸術感性が融合し、創造性豊かな新しい波を生み出す実験的ステージ「お祭りヌーベルバーグ」に安城市から三河万歳が出演しました。

尾張旭市の棒の手、一宮市のばしょう踊りなど6つの伝統芸能が競演する物語の中で、三河万歳もフルート演奏を交えた新鮮なステージを披露しました。



オーストラリア ナショナルデー

4月21日

EXPOホール
あいち・おまつり広場

午前中の公式式典に続いて行われた催事に、三河安城小学校児童20人が参加しました。同じく同国のフレンドシップ事業パートナーとなっている大府市の小中学生とともに、ランタンを使ったパフォーマンスを行い、観客の拍手を浴びていました。

また、夜には安城北中学校(40人)・安城東高校(41人)の生徒が、大府市の中学生とともにナショナルデーのフィナーレを飾る「リバー・オブ・ライト」に出演し、幻想的なショーを披露しました。



デンマーク ナショナルデー

4月20日

EXPOドーム



デンマーク王国フレデリック皇太子とメアリー妃を迎えて行われたオープニングセレモニーに、安城学園高校交響楽団が参加。同国のコリング市の音楽学校生徒と共演し、見事な演奏を披露しました。

また、明和小学校の全校児童が会場に行き、日本とデンマークの国旗を振ったり、拍手をしたりしながら、会場を盛り上げました。

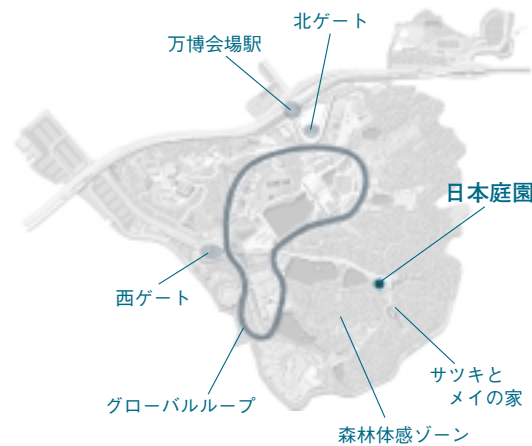
さらに、デンマークを代表する童話作家アンデルセンの世界をイメージしたファッションショーも行われ、華やかなステージが繰り広げられました。



長久手会場森林体感ゾーン

日本庭園茶室 **香流亭**

日本文化を代表する茶道を紹介するとともに、来場者が体験できる記念大茶会が行われています。



堀尾佳弘さん(58)／建築家／明治本町
「高校までは音楽家になるつもりだったんですよ。今でも、建築に飽きたら、また音楽をやろうかなって思うこともあります」



“日本の世界デザイン”

新しい茶室
新しい日本建築の「かた」を感じてください

万象にはそれぞれ「かた」(type)というのものがあります。わたしにもあなたにも、建築の世界にも、そして茶の世界にも。ありとあらゆる世界で魂をこめて培われてきた「かた」。わたしはそこに新たな「かた」を提案したいと思っています。

伝統により残されてきたものと新しいものの融合を、世界中の人々が集う万博会場で、ぜひ感じてもらいたいと思います。

日本の誇るべき伝統と西洋のデザインが融合した新しい建築

世界中の人々に興味を持たれる建築を

今回、県からの依頼を受け、愛知万博長久手会場「森林体感ゾーン」にある日本庭園茶室「香流亭」の設計を担当することになりました。

世界中の人々が集う愛知万博で、日本のしきたりや格式が重んじられる茶室を設計する。これは、日ごろ設計士としてわたしがめざしているコンセプトにぴったりはまっていたんですね。新しくモダンな建築を手がけたい、世界の人たちに興味を持たれるような建築をしたいと日ごろから考えています。でも、日本人として生まれ、日本で育ってきた以上、そこで培われた日本の美意識を捨てることはできないですね。

今回の茶室でいえば、例えば屋根はステンレス製のものを使用しています。通常なら瓦ですよ。その一方で露地や座敷の中まで茶室としてのしきたりや格式は多く残しています。日本の美意識を残しつつ、いかに格式を削ぎ落として、世界の人々に親しまれる新しくモダンなものにするか。そこに今回の茶室に込めた思いがあるんです。